

駒千代の丘

笑顔と意欲いっぱい チーム岡中



岡本中学校だより

令和3年12月13日(月)

12月号



家庭・地域と共に育む 自立・共生・貢献 ～社会で活躍する人材の育成～

年末を迎えました。先日お知らせいたしました、今年度の合唱コンクールについて中止を決定しました。きちんとした感染防止対策を行いながら、パート別の練習、合わせの練習をすることが難しい点や、会場となる体育館に全校生徒を集めての集会は行っていない点、音楽の授業においての合唱がコロナ禍の中で実施できなかったこと等の状況をふまえて各学年でも話し合いをもち、臨時職員会議で決定いたしました。残念ではありますが、生徒の安全が最優先であると考えた結果です。

今年も残すところわずかとなりましたが、新しい年が、少しでもできることが増え、明るい年となるように祈るばかりです。

2年生遠足 学び続ける生徒&学びを支える環境

11月19日(金)、延期していた2年生の遠足を実施しました。当日は好天に恵まれ、午前中は横浜赤レンガパークからベイエリアで班別自主見学、午後はかわさきエコ暮らし未来館での見学と体験を行いました。楽しく充実した学びの1日とすることができました。



第2回学校運営連携協議会 学びを支える環境

11月18日(木)に、第2回学校運営連携協議会を実施しました。第1回は4月19日(月)でしたので、約7か月間の岡本中学校における教育活動等について、委員の皆様にお伝えし、ご質問やご意見を伺いました。また、12月に実施する学校評価アンケートの項目についてもご審議いただきました。

情報交換の中では、朝のあいさつが素晴らしいといったお話がありました。また、コロナ禍で、実際に学校に来て子どもたちの生の姿を見ることができないのが残念であるというご意見もいただきました。1・2年生の各クラスがほぼ40人学級であり、教室が一杯の状況になってしまうために、現段階では授業参観は実施を見合わせています。今後もいただいたご意見を参考にしながら教育活動を続けていきます。第3回は3月に開催する予定です。

P T A美化作業 学びを支える環境

11月27日(土)には体育祭前に予定して延期となっていたP T A主催の美化作業を実施することができました。当日は好天に恵まれ、受付では検温と消毒を行うなど、感染防止対策を行いました。

保護者だけでなく、生徒、卒業生、P T AのOB会、岡小区及び岩小区育成会の皆様にもご協力をいただき、約40名で草刈り、樹木の剪定、側溝の泥上げ等を行い、年末年始に向けて、校地内をさっぱりとすることができました。大変ありがとうございました。



文化活動発表会 展示の部

11月21日から、校舎B棟の1階にて、文化活動発表会の展示部門として、授業や部活動で作成した生徒の作品等を展示しています。すでに3年生の教育相談期間に合わせてスタートし、現在も展示しています。1・2年生の教育相談期間にも展示しておりますので、学校にお越しの際は、ぜひご覧ください。

新入生保護者説明会 学びを支える環境

12月9日(木)の午後、体育館にて新入生保護者説明会を開催しました。最初に松田警察署より櫻庭スクールサポーターを講師としてお迎えし、入学後に心配されるSNSのトラブル防止についてお話をいただきました。その後、年間行事、学校生活、部活動等について各担当から説明を行いました。

学校は、1年間のまとめと同時に、来年度に向けての準備も確実に進めています。

情報モラル実態調査の結果から 学び続ける生徒&学びを支える環境

夏休み前に実施した情報モラル実態調査の結果ができました。岡本中の課題として、次の3点が挙げられました。

- ① SNSにコメントを書いたり動画をアップしたりする生徒の割合が市内の他校と比較しても多い。
- ② ゲーム、ケータイ、スマホやパソコン等を使っている時間が2時間以上の生徒の割合が昨年度より増加している。休日に2時間以上の生徒は9割を超えている。
- ③ 家庭におけるゲーム、ケータイ、スマホやパソコンなどを使う時のルールが無いと回答した割合は学年が上がるほど増加し、3年生では約4割の家庭でルールが決められていない。

さらに、4月に実施された全国学力・学習状況調査における質問紙調査の結果からは、南足柄市の中学生が毎日ゲームをする時間について、次のような結果ができました。

- | | |
|------------------------|-------|
| ① 毎日4時間以上ゲームをしている生徒の割合 | 約 25% |
| ② 毎日2時間以上ゲームをしている生徒の割合 | 約 70% |

どちらの数値も全国平均をおおむね10%上回っている状況でした。

実際にSNSへの書き込みによるトラブルが発生して、学校において、多くの時間をその指導に使うケースもあります。また、オンラインゲーム上のトラブルから、人間関係にヒビが入るといったケースもあります。このような課題は、学校の指導だけで解決できるものではありません。まず各ご家庭におけるルールづくりや話し合いの機会をもつことが大切だと感じています。

年末年始を控え、かけがえのない中学生時代の時間の使い方について、この結果が各家庭での話し合いのきっかけになればと思います。

【校長室の窓から】 新しい生活様式をどう創りあげるか

コロナ禍が続いた1年もあつたこととなりました。全国的に見ても、人が密になることが避けられない学校生活の中で、多くの学校が感染を防止し、休校などの措置にならずに教育活動を継続しています。なぜ学校で感染防止ができているのか？そこには教職員の絶え間ない努力と生徒の頑張り、そして保護者や地域の協力が存在していると感じます。

学校運営連携協議会で、学校の取組みについて紹介してほしいというご意見をいただきましたので、具体的な取組みについてご紹介いたします。

【感染症防止のためにやっている学校の取組みの紹介】

7:50に昇降口を開け、朝の健康観察を行い、必要に応じて検温を実施。校内ではマスク着用。生徒は教室に入る前に手洗い。教室や廊下には手指消毒用のアルコール等を設置。教室には空気清浄機と二酸化炭素濃度モニターを設置。給食については、40人規模のクラスでは配膳を廊下で行い、すべてのクラスで黙食。

職員と生徒の手による定期的な校内の消毒作業。部活動時の密を避ける工夫。etc

今年も毎日のように、登校時から下校時まで感染症対策を続けてきました。教育活動を続けることが「学び続ける生徒」を支えます。来年も気を緩めず、感染症防止に努めます。

今回は令和3年に発行する最後の学校だよりになります。

皆様良いお年をお迎えください。

